

本日は数年に一度にと云われる寒波襲来の中、又年度末の慌ただしい中にも関わらず、右松・野崎県議会議員を始め、熊谷新田原基地司令、稲田二十四連隊長など各部隊長にも

当県防衛協会青年部会 宮崎支部総会に多数ご臨席を賜り、高い席からではありますが、改めて感謝を申し上げます。

先ずは二月五日、佐賀県にて墜落殉職した目達原駐屯地の二名のヘリ隊員に、衷心より哀悼の誠を捧げねばなりません。

さて韓国では今日から冬季オリンピックが始まりますが、北朝鮮は文政権の足下を見透かしたように、様々な陽動作戦を展開し、日米韓に楔を打ち込もうとしているようです。

日米の連携は強固ですが、一番の当事者である韓国文政権は北朝鮮と一体どう対峙するのか、全く予断を許しません。

昨日は北朝鮮の軍事パレード、五輪後には米韓軍事演習が予定されており、様々な情報を紡いでいけば米軍の地上攻撃は、準備が整い次第開始される話も信憑性を帯びてきます。

そうなれば日本にも影響があり、東京、大阪、福岡は云うに及ばず、この宮崎にもコースを大きく外れた北朝鮮の弾道ミサイルが飛来する可能性もありそうです。

勿論新田原五空団、都城四十三連隊、そしてえびの二十四連隊等の郷土部隊が我々を守ってくれる事は信じて疑いませんが、祖国は自らの手で守り抜くとの気概と矜持を国民全員が持たねば、僅か二十五万人の陸・海・空自衛官だけでこの日本の国土や国民の生命・財産を守るはずありません。

その為には早急に自衛隊を明記する憲法改正を実現し、名実共に国民と共にある国軍として 振り返れば銃後の国民が支える「ような強い信頼関係を構築する必要があるそうです。

今夜は限られた時間ではありますが各々胸襟を開き、支部会員と現役自衛官の固くて太い絆を結んで頂ければ幸いです。簡単措辞で誠に要を得ませんが、以上で支部長挨拶に代えさせて頂きます。本日はご参加頂きありがとうございました。

平成三十年二月九日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小倉 和彦

